

経済指標ウォッチャー

4月米国雇用統計 非農業部門雇用者数が順調に増加

0.5%の利上げが賃金上昇に与える影響に注目

米国雇用統計とは？

米国の雇用情勢を調査した統計で、米国労働省が公表。米国雇用統計は速報性が高く、原則として毎月第1金曜日に公表される。

米国の金融政策を見通すうえで、雇用関連指標の代表である雇用統計の重要度は高く、投資家の関心が集まる経済指標。

2022年4月の失業率は引き続き低水準

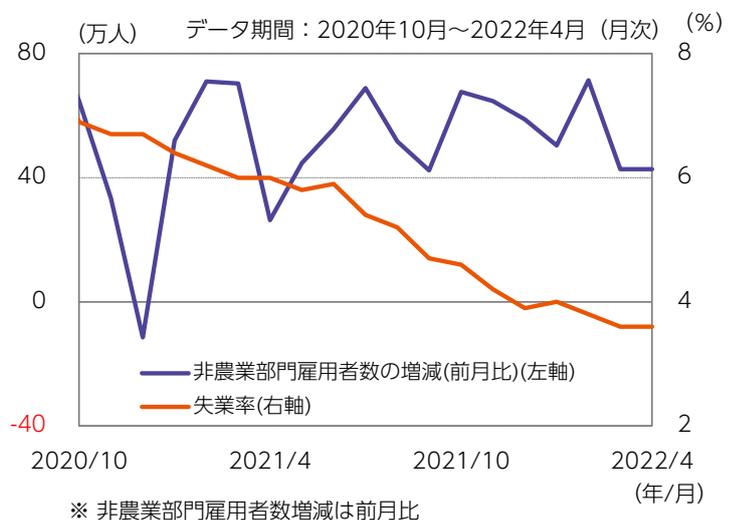
6日に米国労働省が発表した4月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比42.8万人増と市場予想の同38.0万人増を上回りました。失業率は3.6%と前月から横ばいではあったものの、2020年2月以来の低水準を維持しています(図表1)。新型コロナウイルスの影響が軽微になりつつあり、経済活動の正常化が進んでいることから、「接客・レジャー」「製造業」「輸送・倉庫」の雇用者数の増加が目立つ結果となりました。

今後の賃金上昇の行方に注目が集まる

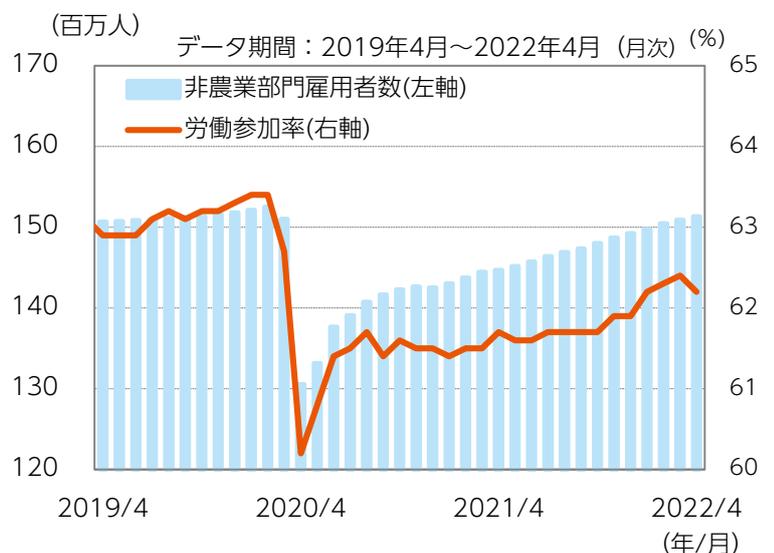
非農業部門雇用者数はコロナ禍前の2020年2月と比較して、約119万人少ない(2020年2月比で99.2%)水準まで回復してきました(図表2)。16歳以上の人口に占める労働力人口を示す労働参加率は62.2%と前月の62.4%から低下しました(図表2)。直近の求人数が1,150万人を上回り2000年の調査開始以来最高を記録するなど、企業の人手不足が続いているにもかかわらず、労働参加率が低下したことから、企業の採用活動がさらに困難になることも考えられます。

4月の労働者の平均時給は前月比+0.3%と3月の同+0.5%から伸びが低下したことから、市場では賃金上昇圧力が一服したのではないかとの見方もあります。一方、前年同月比では+5.5%と高い伸びが続いており、企業が賃上げによって人手不足の解消を進めているとみられます。5月のFOMC(米連邦公開市場委員会)で0.5%の利上げが実施されましたが、賃金上昇等を背景とするインフレ圧力の高まりが緩和されるか、今後の動向が注目されるものとみられます。

図表1：非農業部門雇用者数の増減と失業率



図表2：非農業部門雇用者数と労働参加率



出所) 図表1、2はブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメントが作成

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>